

平塚市民病院経営計画

実施計画

平塚市民病院経営計画 実施計画施策体系

【基本方針】

【施策】

【事業】

1 患者の視点に立った医療の提供	1 療養環境の整備	1 患者サービスの向上	P13	
		2 施設・設備の改修		
		3 職員研修（接遇）の充実		
		4 新棟の建設	P14	
		5 院内感染対策の強化		
	2 患者相談体制の充実	1 患者サポートセンターの設置	P15	
		3 病院機能評価の認定更新	1 病院機能評価の認定更新	
			1 病院広報紙の発行	P16
			2 医療講座の開催	
			2 安全で信頼される急性期医療の提供	1 医療の標準化
2 安全で信頼される急性期医療の提供	2 専門医療の強化	1 クリティカルパスの充実	P17	
		2 医療安全管理体制の充実		
		1 医療スタッフの充実	P18	
		2 臓器別・疾患別センター化		
		3 がん診療連携拠点病院との連携	P19	
	3 医療の情報化・高度化の推進	4 研究・研修体制の充実		
		5 治験の実施		
		6 薬剤管理業務の充実	P20	
		1 電子カルテシステムの導入		
		2 高度医療機器の整備		
3 地域に根ざした医療の展開	1 地域医療連携の推進	1 地域医療支援病院の承認	P21	
		2 周産期医療・小児医療の充実		
	2 救急医療の充実	1 E R体制の強化		
		2 消防救急隊との連携	P22	
		3 災害時医療体制の整備		
4 病院経営の健全性の向上	1 職員の経営参画意識の向上	1 職員の意識改革	P23	
		2 病院事業管理者ヒアリングの実施		
	2 効率的な病院経営	1 DPC分析を活用した経営管理	P24	
		2 原価計算による経営分析		
		3 病床利用率の向上		
		4 窓口未収金対策の強化	P25	
	3 保険診療上の施設基準の取得	1 各種施設基準の取得		
		4 委託業務内容の見直し	1 長期継続契約の適用	P26
	5 薬剤・診療材料等の経費削減		2 臨床検査科業務の委託化	
		1 医薬品の共同購入	P27	
2 診療材料の標準化				

基本方針 1：患者の視点に立った医療の提供

施策 1－1：療養環境の整備

事業名	01 患者サービスの向上		事業担当	医事課 地域医療・患者支援室
事業概要	患者から寄せられた「利用者の声」の活用や定期的な院内巡視を重ね、患者の過ごす院内アメニティーの向上を図るとともに、外来での待ち時間の短縮に向け、継続して取り組みます。			
達成目標	【成果指標】			
	・ 外来待ち時間調査の継続実施 ・ 患者満足度アンケートの実施			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	調査の実施と改善	→	→	→

※アメニティー：環境などの快適さ

事業名	02 施設・設備の改修		事業担当	病院総務課
事業概要	病棟建物の老朽化が進んでいることから、南棟は耐震性の問題を解決するために建替え計画を推進し、北棟は、計画的に施設・設備の改修を進め、良好な医療環境を提供していきます。			
達成目標	【成果指標】			
	・ 施設・設備等の改修			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	準個室ユニットの導入	電源工事 冷温水発生装置のメンテナンス	施設・設備等の維持管理	→

事業名	03 職員研修（接遇）の充実		事業担当	病院総務課
事業概要	医療を提供する病院もサービス業として、“自分は患者のために何ができるか”を常に考え行動できるよう、看護科職員を中心に、全職員を対象とした接遇研修を実施します。			
達成目標	【成果指標】			
	・ 接遇研修の実施			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	マナー講習会開催	接遇研修実施	→	→

事業名	04 新棟の建設		事業担当	改築推進室
事業概要	災害時における地域住民の医療拠点として、また、市民が安心して医療を受けることができる環境を整備するため、耐震診断の結果建替え等の対応を指摘された南棟の建て替えを行います。			
達成目標	【成果指標】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本設計、実施設計 ・ 仮設救急棟建設 ・ 保育所建設 ・ 新棟建設 			
	平成 22 年度(現状)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
基本設計 実施設計	実施設計 仮設救急棟建設 保育所建設	解体（管理棟・救急棟・保育所） 新棟建設工事着工	新棟建設 (H27 年度供用開始)	

事業名	05 院内感染対策の強化		事業担当	病院総務課
事業概要	入院患者は、体力や抵抗力の低下が認められることから、様々な病原体による院内感染の発生を未然に防ぐことはもちろん、万一、院内感染が発生した場合には、迅速に対応するなど、日頃から医療スタッフ間で情報を共有し、院内感染対策の強化を図ります。			
達成目標	【成果指標】			
	・ 感染対策委員会の定期開催			
	平成 22 年度(現状)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
毎月一回	→	→	→	

施策 1 - 2 : 患者相談体制の充実

事業名	01 患者サポートセンターの設置	事業担当	地域医療・患者支援室		
事業概要	<p>地域医療機関との連携や患者及び患者家族からの相談窓口を一本化し、「地域医療・患者支援室（呼称：患者サポートセンター）」を設置します。</p> <p>地域の開業医からの紹介患者の受け入れや患者等からの各種相談業務を行うことで、市民病院を利用する各ステークホルダーの満足度や地域の医療、保健、福祉の向上を図ります。</p> <p>また、相談により退院阻害要因を取り除き、早期に退院できるよう支援を行い、同時に病床利用率の向上を図ります。</p>				
達成目標	【成果指標】				
	・平均在院日数				
	平成 22 年度(現状)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	13.4 日	13.0 日	12.5 日	12.0 日	

※ステークホルダー：企業の利害関係者。患者や患者家族、地域の開業医師、病院との取引業者など

施策 1 - 3 : 病院機能評価の認定更新

事業名	01 病院機能評価の認定更新	事業担当	病院総務課		
事業概要	<p>患者が望む医療の内容・質の提供や診療活動の改善等を継続的に行なう努力をしているかなど、病院の持つ機能を体系的に審査する財団法人日本医療機能評価機構による更新審査を受審し、認定の更新を受ける。</p>				
達成目標	【成果指標】				
	・認定更新				
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	更新審査準備 自己評価実施	更新審査受審 認定更新	機能の維持・改善	→	

施策 1 - 4 : 広報活動の強化

事業名	01 病院広報紙の発行		事業担当	病院総務課
事業概要	地域の診療所との連携や市民病院をより身近なものに感じてもらえるよう、患者や開業医の医師が必要とする情報や病院が伝えたい情報を掲載した広報紙を発行します。			
達成目標	【成果指標】 ・ 広報紙の定期的発行			
	平成 22 年度 (現状)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	広報委員会のあり方について検討	広報紙の発行について広報委員会で検討	広報紙の発行	→

事業名	02 医療講座の開催		事業担当	病院総務課
事業概要	地域に密着した活動の一環として、市民が医療の知識を身につけ、病気にならないよう予防してもらうため、医療スタッフによる医療講座の院内開催や市民アカデミーへの参加及び出前講座を実施します。			
達成目標	【成果指標】 ・ 医療講座の実施 ・ 市民アカデミーへの参加 ・ 出前講座の実施			
	平成 22 年度 (現状)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	市民アカデミーに 6 講座参加 出前講座 1 講座	医療講座の実施 市民アカデミー参加 出前講座実施	→	→

基本方針 2：安全で信頼される急性期医療の提供

施策 2-1：医療の標準化

事業名	01 クリティカルパスの充実	事業担当	医事課	
事業概要	患者への安全で効果的な医療の提供とチーム医療を推進し、病気の治療や検査に対して標準化したクリティカルパスを積極的に作成し運用します。 また、日帰り手術や短期入院を促進することで、患者の仕事や日常生活への影響や入院費用の負担の軽減を図るとともに、病床を有効的に利用します。			
達成目標	【成果指標】 ・クリティカルパスの登録数			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	69	75	85	100

※クリティカルパス：入院中に行う検査・処置・手術・看護などを時系列にまとめた治療計画表

事業名	02 医療安全管理体制の充実	事業担当	医療安全管理室	
事業概要	医療事故やインシデントの防止のため、医療安全研修会を定期的を開催するとともに、インシデント、アクシデントの発生時には、報告を徹底させ原因の分析を行い、職員間で防止対策のための情報を共有するなど、一層の強化を図り、安心して安全な医療の提供に努めます。			
達成目標	【成果指標】 ・医療事故等防止対策			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	医療事故等 防止対策	→	→	→

施策 2-2：専門医療の強化

事業名	01 医療スタッフの充実	事業担当	病院総務課
事業概要	急性期医療を提供する中核的病院として、市民に必要とされる医療を提供していくため、医師や看護師、コメディカル等の人材を安定的に確保します。また、医療現場の環境整備や処遇面での改善を図り、医師等のモチベーションの向上を図ります。		
達成目標	【成果指標】 ・採用計画の策定 ・処遇改善の実施		
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度
	採用計画の検討	採用計画を策定 採用計画に沿った 職員採用	採用計画に沿った 職員採用
			→

※急性期：病気や怪我の症状が一番激しい時期

事業名	02 臓器別・疾患別センター化	事業担当	経営企画課
事業概要	臓器別・疾患別のセンター化を図ることで、がんや脳・心臓疾患等の患者に対して、診療科の枠を超えて、医師を中心に看護師やコメディカル等のスタッフによる高度なチーム医療を提供します。		
達成目標	【成果指標】 ・臓器別・疾患別センター化		
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度
	救急センター 脳卒中センター	乳腺センター	心臓病センター
			がんセンター

事業名	03 がん診療連携拠点病院との連携	事業担当	地域医療・患者支援室
事業概要	専門的ながん医療の提供を行うことができる医療機関として、診療機能や医療従事者の充実を図るとともに、地域でのがん医療に関する研修の実施やがん患者を支援するための情報の収集・提供体制を整備し、がん診療連携拠点病院との連携を強化します。		
達成目標	【成果指標】 ・がん診療連携拠点病院の指定要件の整備		
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度
	指定要件の課題整理	指定要件の整備	がん医療診療体制の充実
			平成 25 年度
			→

事業名	04 研究・研修体制の充実	事業担当	病院総務課
事業概要	医師や看護師、コメディカル等医療スタッフの人材育成を図るため、専門分野での資格取得を支援するとともに、職員の技能アップに向けた研究・研修体制の充実を図ります。		
達成目標	【成果指標】 ・各職種・職場における研究・研修への支援		
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度
	海外研究・研修派遣制度制定 専門資格受験助成制度制定	支援制度の検討	→
			平成 25 年度
			→

事業名	05 治験の実施	事業担当	薬局
事業概要	将来の治療方法の発展に寄与するため、治験に参加する患者（被験者）の利益やリスクに配慮しつつ、国から承認前の薬剤の安全性や有効性の検証について、治験審査委員会の管理のもとに進めていきます。		
達成目標	【成果指標】 ・治験実施件数		
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度
	1 件 4 症例	2 件	2 件
			平成 25 年度
			3 件

事業名	06 薬剤管理業務の充実	事業担当	薬局	
事業概要	外来患者処方箋を院外処方徹底し、外来調剤に携わる薬剤師を各病棟での薬剤管理業務にシフトさせ、病棟内での薬剤師の専門性をいかすことでチーム医療の充実を図ります。			
達成目標	【成果指標】 ・ 薬剤管理指導件数			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	4,200 件	5,500 件	6,500 件	7,800 件

施策 2-3：医療の情報化・高度化の推進

事業名	01 電子カルテシステムの導入	事業担当	経営企画課	
事業概要	現行オーダリングシステムの老朽化を解消するとともに、IT化による診療情報の一元管理を進め、医療の質・安全性の向上や業務の効率化を図るため、電子カルテシステムを導入します。			
達成目標	【成果指標】 ・ 電子カルテ導入			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	電子カルテ導入に向けた運用調整	フルオーダリング稼働 電子カルテ稼働	電子カルテ運用	→

事業名	02 高度医療機器の整備	事業担当	病院総務課	
事業概要	地域の医療需要が高度化・多様化する中で、診療機能の充実を図り、良質な医療を提供するため、高度高額医療機器の整備を計画的に行います。			
達成目標	【成果指標】 ・ 高度医療機器の更新・導入数			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	40	40	40	40

基本方針 3：地域に根差した医療の展開

施策 3－1：地域医療連携の推進

事業名	01 地域医療支援病院の承認	事業担当	地域医療・患者支援室	
事業概要	地域での急性期病院としての役割を担いながら、地域の診療所を支援し、地域医療に貢献するため、紹介率や逆紹介率の向上を図り、地域医療支援病院の承認を目指します。			
達成目標	【成果指標】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介率 ・ 逆紹介率 ・ 施設基準の申請及び認可 			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	紹介率：56.2% 逆紹介率：45.2%	紹介率：61% 逆紹介率：50%	国からの承認	

事業名	02 周産期医療・小児医療の充実	事業担当	経営企画課	
事業概要	地域において分娩施設が減少する中、妊娠から出産、新生児に対して高度で専門的な医療を提供し、安心して子どもを産み育てることのできる医療環境を整備します。			
達成目標	【成果指標】			
	・ 救急（周産期・新生児・小児）体制の整備			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	救急体制の整備	→	→	→

施策 3－2：救急医療の充実

事業名	01 ER体制の強化	事業担当	病院総務課	
事業概要	二次救急医療を担う病院として、市民の暮らしの安心を支えるため、24時間365日救急医療の提供ができるよう、ER体制の整備を図っていきます。			
達成目標	【成果指標】			
	・ ER体制の強化			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	ERハーフ平日	ERハーフ毎日	ER拡充の検討	→

事業名	02 消防救急隊との連携	事業担当	医事課
事業概要	<p>湘南地区メディカルコントロール協議会の救急医療機関としての一翼を担っており、救急現場からの患者搬送時における救急救命士や救急隊員が行う応急処置等への指示や指導等の助言体制を充実させるほか、救急救命士の病院実習の受け入れや事例検討会の開催など、再教育体制を整えて消防機関との連携を図ります。</p>		
達成目標	【成果指標】		
	・救急車搬送患者数		
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度
	4,975 人	5,000 人	5,200 人
			平成 25 年度
			5,500 人

事業名	03 災害時医療体制の整備	事業担当	病院総務課
事業概要	<p>県の災害医療拠点病院として位置づけられており、医師や看護師、コメディカルと事務職員との連携の中で、地域住民にも参加を求めながら災害時を想定した医療訓練を実施します。また、災害時の急性期に活動できる機動性を持った医療チームを被災地に派遣する「神奈川DMAT」指定病院に指定されているため、国や県等が実施する訓練に参加します。</p>		
達成目標	【成果指標】		
	① 訓練実施回数 ③DMAT 訓練参加回数		
	② 訓練参加者数		
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度
	① 1 回	① 1 回	
	② 215 人	② 200 人以上	→
	③ 3 回	③ 2～3 回	→
			平成 25 年度

基本方針 4：病院経営の健全性の向上

施策 4－1：職員の経営参画意識の向上

事業名	01 職員の意識改革		事業担当	経営企画課
事業概要	病院経営の効率化は、良質な医療を提供するための手段との認識のもと、500人を超える様々な職種の職員が混在する中で、医師をはじめ、全職員一丸となって取り組めるよう、経営に関する情報を積極的に発信することで、職員の経営参画意識の醸成を図ります。			
達成目標	【成果指標】 ・院内情報紙発行			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
		ニュースレターの発行	→	→

事業名	02 病院事業管理者ヒアリングの実施		事業担当	経営企画課
事業概要	診療科ごとに現状の分析や今後の目標設定等について意見交換をし、情報の共有を図ることで、現場の医療スタッフのモチベーションを高めながら良質な医療が提供できるよう、医療スタッフと事業管理者との間で定期的にヒアリングを実施します。			
達成目標	【成果指標】 ・診療科、看護部等部門ヒアリング			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	全体 1 回 各部門随時	年 2 回	→	→

施策４－２：効率的な病院経営

事業名	01 DPCデータ分析を活用した経営管理		事業担当	経営企画課
事業概要	DPCという新しい診療報酬制度により、病院経営の転換が求められています。院内に診療情報管理部門を設置し、提供している医療サービスを、様々な角度からデータ分析を行い、医療スタッフと改善に向けた議論を交わしながら、医療サービスの質の確保と経営改善の両立を図っていきます。			
達成目標	【成果指標】 ・診療科との分析結果検討会の開催			
	平成22年度（現状）	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	10診療科	前年度取り組みによる改善確認	10診療科	前年度取り組みによる改善確認

事業名	02 原価計算による経営分析		事業担当	経営企画課
事業概要	新たな電子カルテシステムの導入に合わせ、集積されたデータを活用した原価計算システムを再構築し、診療科別の経営分析を行います。			
達成目標	【成果指標】 ・原価計算システム再構築			
	平成22年度（現状）	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	配賦基準等データ抽出検討	システム再構築による経営分析	→	→

事業名	03 病床利用率の向上		事業担当	看護科
事業概要	各病棟のベッドコントロールを一元的に行う専任の病床利用管理者により、病床の効率的な利用を図ることで、適正な在院日数の調整と病床利用率の向上を推進します。			
達成目標	【成果指標】 ・病床利用率			
	平成22年度（現状）	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	91%	91%	90%	91%

事業名	04 窓口未収金対策の強化		事業担当	医事課
事業概要	患者自己負担分の未収金について、支払い相談の充実やクレジットカードによる支払いの活用等、患者の利便性の向上を図るとともに、戸別訪問徴収の実施や少額訴訟等回収方策の検討を行い、未収金の減少を図ります。また、外部委託を含めた債権回収の方法について検討します。			
達成目標	【成果指標】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・未収金金額の縮小 ・回収率の向上 			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	回収率 30.7%	回収率 40.0%	回収率 45.0%	→

施策 4－3：保険診療上の施設基準の取得

事業名	01 各種施設基準の取得		事業担当	医事課
事業概要	病院機能の向上を図り、診療報酬上で加算が得られる施設基準の取得を推進します。			
達成目標	【成果指標】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設基準の新規認定 ・認定に係る経済的試算 			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	看護補助加算	医師事務作業補助加算 電子画像管理加算	地域医療支援病院入院診療加算	診療報酬の改定に応じた対応

施策４－４：委託業務内容の見直し

事業名	O1 長期継続契約の適用		事業担当	病院総務課
事業概要	長期継続契約の締結に関する規程の制定により、費用面でのコスト削減や安定的な業務の提供等長期契約のメリットをいかせるよう委託業務仕様を見直し、積極的に適用をしていきます。			
達成目標	【成果指標】 ・長期継続契約の総件数			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	4 件	8 件	10 件	12 件

事業名	O2 臨床検査科検体検査業務の委託化		事業担当	経営企画課
事業概要	臨床検査科の検体検査業務に関して、健全で安全、効率的な体制に再構築するため、FMS（民間事業者との共同事業）方式により検体検査業務の運営支援委託を実施します。			
達成目標	【成果指標】 ・委託化の実施 ・検査業務コストの削減			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	事業者選定	共同運営開始 試薬購入費等削減	共同運営 試薬購入費等削減	→

施策 4-5：薬剤・診療材料等の経費削減

事業名	01 医薬品の共同購入		事業担当	病院総務課
事業概要	近隣の公立病院等と医薬品の調達を一括管理できる仕組みづくりを進め、大量購入によるメリットをいかしコスト削減に努めます。			
達成目標	【成果指標】 ・ 医薬品購入費削減			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
		共同購入システム 検討	前年比コスト 1 % 削減	→

事業名	02 診療材料の標準化		事業担当	病院総務課
事業概要	物流管理運營業務の見直しを行い、在庫方式の変更や集中発注によるコスト削減を図るとともに、各診療科で異なって使用している材料の標準化を進め、安全性の向上や調達の効率化を図っていきます。			
達成目標	【成果指標】 ・ 診療材料購入費削減			
	平成 22 年度（現状）	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	物流管理運營業務の 見直し	調達方式変更 前年比コスト 4 % 削減	前年比コスト 2 % 削減	前年比コスト 1 % 削減